

高知県立幡多農業高等学校

GAPの部

団体名：高知県立幡多農業高等学校

所在地：高知県四万十市

認証：JGAP（平成31年1月）

応募区分：人材育成の部

面積：3.3 a

構成員：32名

取組品目：ミニトマト

取組の紹介

- 同校は、県外高校のGLOBAL G.A.P. 認証公開審査視察をきっかけにGAP導入の気運が高まり、学校全体での取組が始まった。

各学年の授業内でGAP教育を取り入れて、「提案を絶対に否定しない」を心がけており、どんな小さな提案や気づきであってもそれをまず採用し、実際に取り組む中で話し合いを重ね理想に近づけていくといった授業展開を行っている。

そうすることで、生徒が「自ら考え、課題を見つけ想像し、創造する」力が確実に育まれた。

- 県内で最も早くJGAP認証取得ということで、公開審査には生産者、県内の他の農業高校、関係機関等30名が見学、マスコミ5社にも取り上げられ、GAPをPRする格好の場となった。

GAPに取り組む中で、「農業高校の良さを活かしながら、どうすればリスクを低減できるのか」という視点から、JGAP認証基準書の項目に同校独自の項目を追加し、「はたのうGAP」として取り組むなど認証取得だけを目的とした取組にとどまらず、農業活動・農場経営の改善に主眼を置いた取組を展開している。

- この一連の取組は、県内でも前例がなく、今後の県内地域農業への波及効果が高いものと評価され、「高知県地場産業大賞」では、次世代賞を受賞した。

同校での取組がユニーク事例セレクションとして「農業高校に行こう！」（全国農業高等学校長協会監修）で紹介されるなど、全国のエデュケーション機関のモデルとなっている。



定着した清掃活動



公開審査の様子



高知県次世代賞受賞